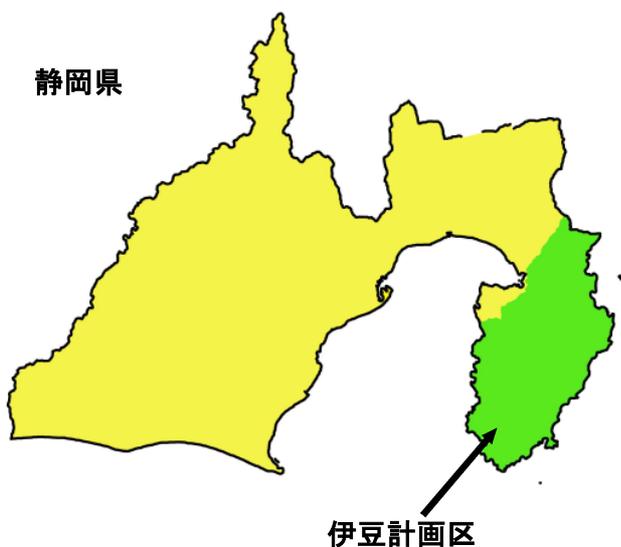


平成23年度に樹立・策定する伊豆計画区の概要

1 現行計画の概要



富士箱根伊豆国立公園（天城山脈）



(1) 森林計画の概要

ア 位置

当計画区は静岡県東部に位置し、伊豆半島の下田市、東伊豆町、南伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、伊豆の国市、函南町、伊豆市にある国有林野16千haを対象。

イ 国有林の特徴

首都東京から比較的近く、富士箱根伊豆国立公園に指定されるなど、温泉、溪谷、豊かな森林景観を有し、レクリエーション等の保健休養の場としての利用が特徴。

ウ 森林資源の状況

- ・天然林が約4千ha、人工林が約12千ha。
- ・人工林のうち、約5割が間伐期（21年生～55年生）。

エ 機能類型別面積

水土保持林が約11千ha、森林と人との共生林が約5千ha、資源の循環利用林が約0.5千ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林及び緑の回廊

保護林	20箇所	397 ha
-----	------	--------

イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	1,100 ha
自然観察教育林	1箇所	132 ha

ウ 国民参加の森づくり

記念日の森づくり活動	1 ha
天城遊々の森における体験活動	4 ha
水を育む森づくり活動	6 ha



製品生産事業

エ 伐採・保育事業量

主伐	42,190 m ³
間伐	111,714 m ³
造林	62 ha
下刈	171 ha
つる切	140 ha
除伐	423 ha

オ 林道の事業量

林道開設	2路線	1,330 m
林道改良	61路線	72,720 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	40箇所
保安林整備	156 ha



天城遊々の森における体験活動

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養のほか、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

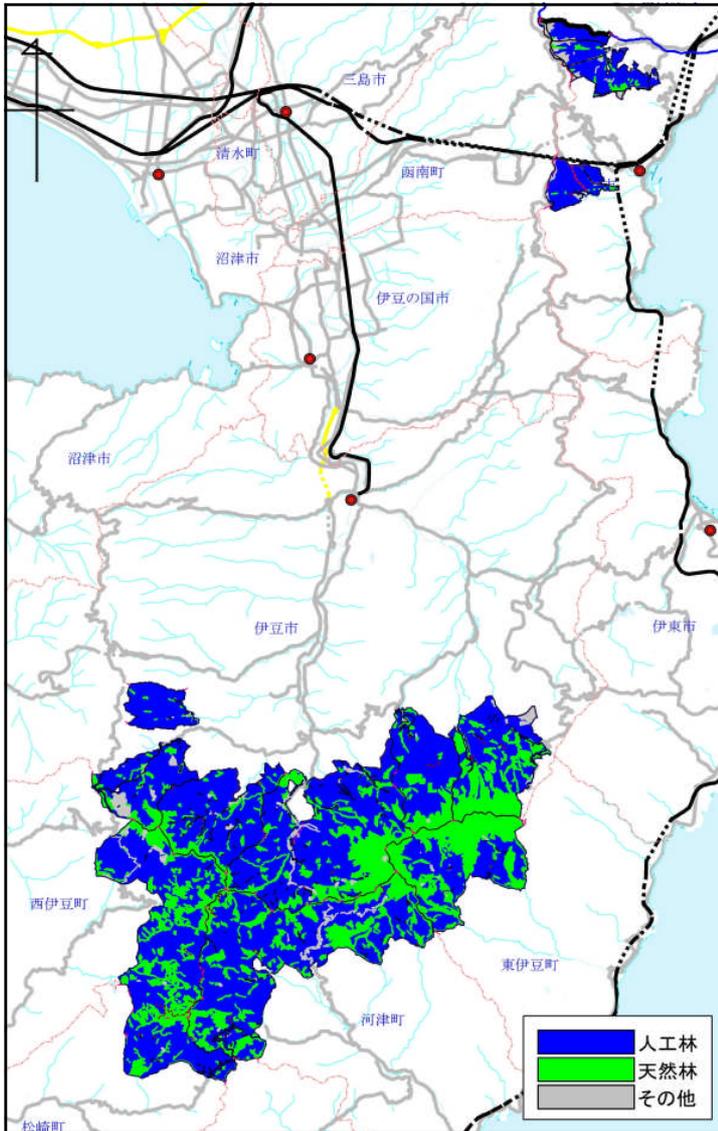
- (1) 地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの取扱いや設定に反映。
- (3) 希少野生生物の保護対策を推進。
- (4) ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
- (6) 路網整備と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。
- (7) ニホンジカによる食害・剥皮防止対策の推進。

市町村別森林面積等

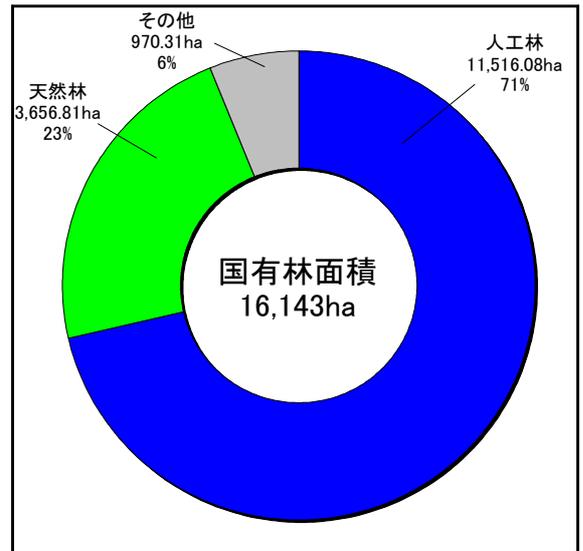
市町村名	市町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
下田市	10,479	7,925	-	76	-
東伊豆町	7,783	5,831	1,525	75	26
南伊豆町	11,058	8,534	-	77	-
河津町	10,079	8,362	3,178	83	38
松崎町	8,522	7,181	660	84	9
西伊豆町	10,552	9,398	2,263	89	24
熱海市	6,156	3,876	990	63	26
伊東市	12,413	6,909	-	56	-
伊豆の国市	9,471	5,220	-	55	-
函南町	6,513	3,593	-	55	-
伊豆市	36,397	29,929	7,527	82	25
計	129,414	96,757	16,143	75	17

人工林・天然林

人工林・天然林の分布状況

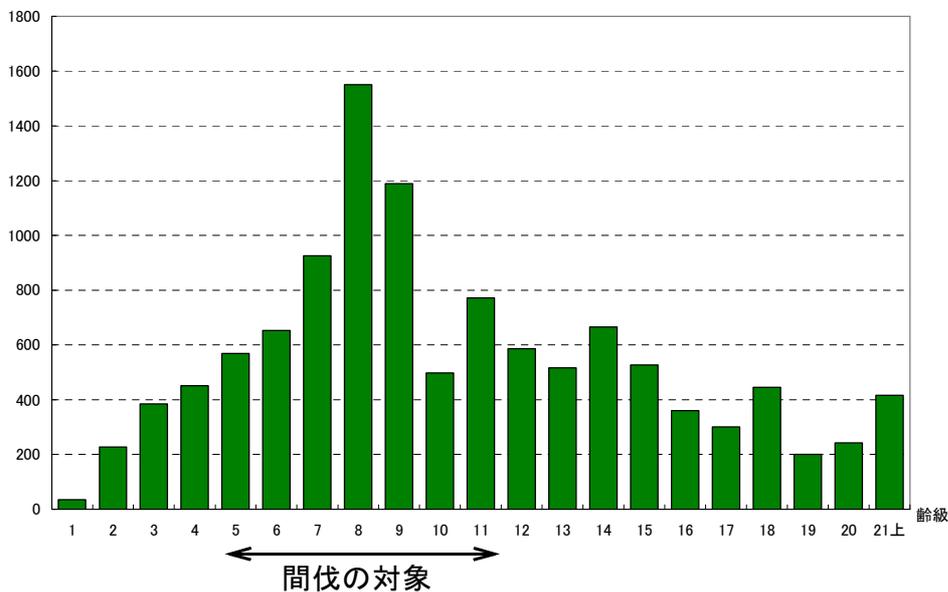


人工林・天然林別割合



人工林の齢級別面積

人工林面積 (ha)



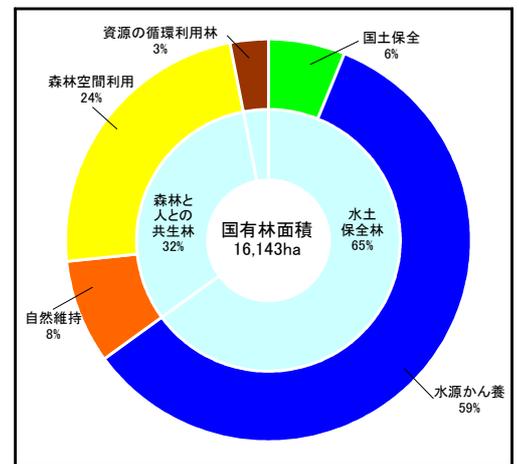
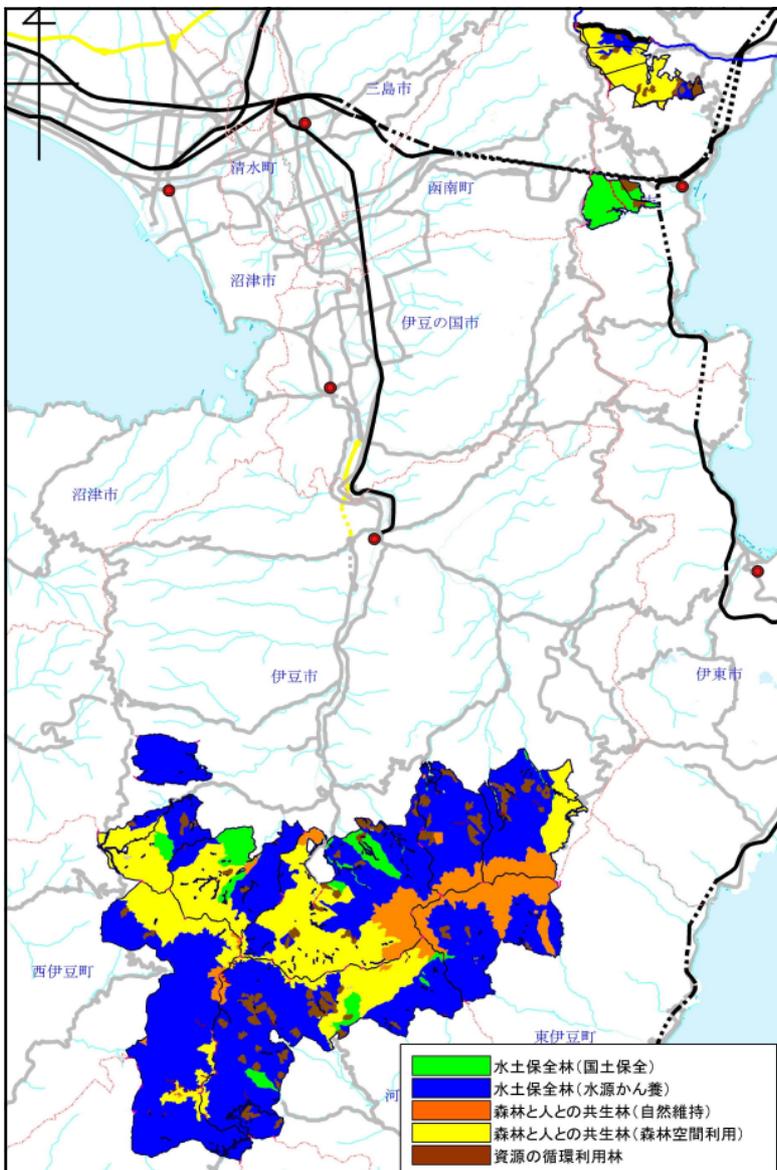
人工林の齢級別では5齢級（21年生）～11齢級（55年生）の人工林が多く、間伐適期となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

機能類型

機能類型区分について

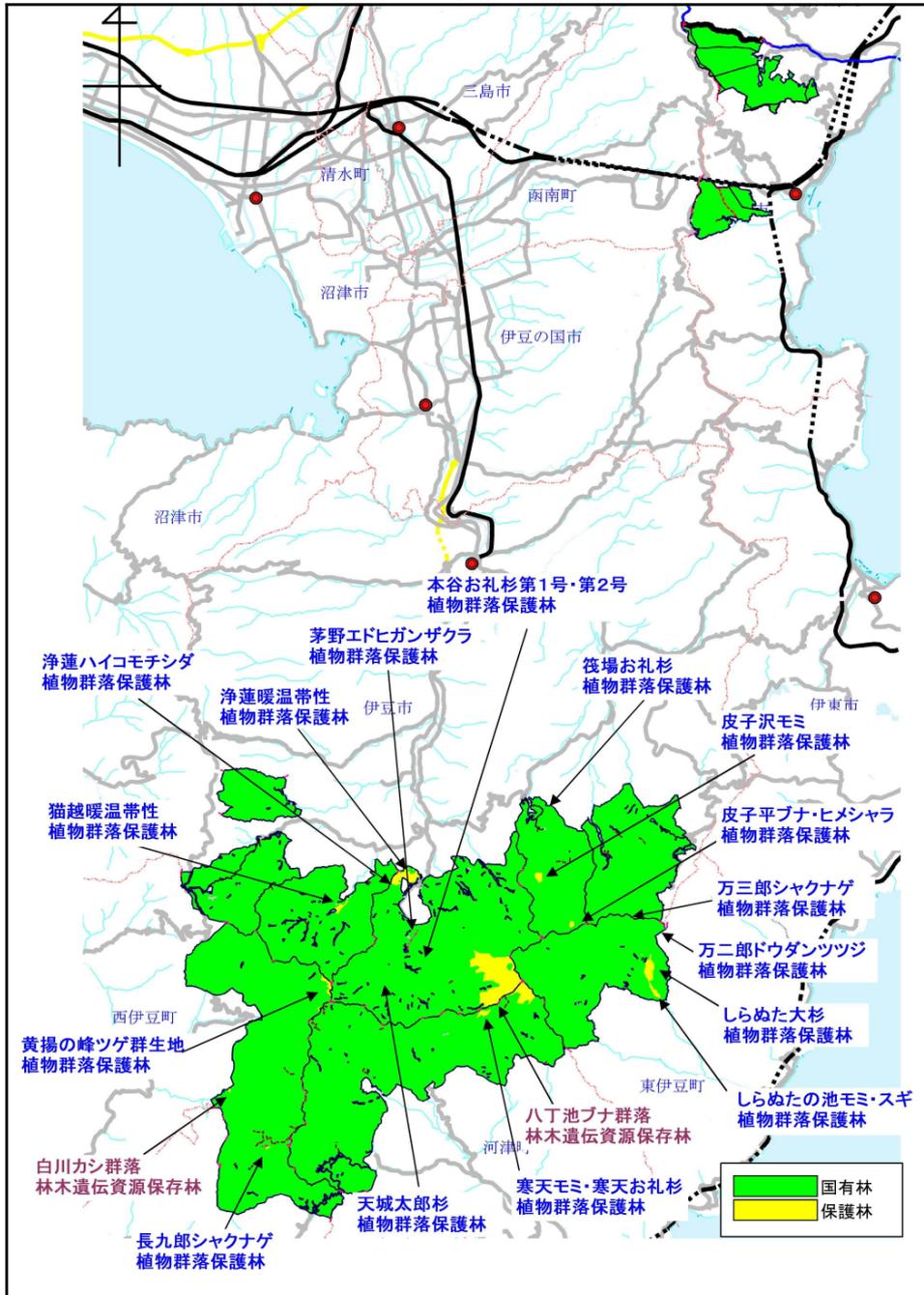
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進



当計画区の機能類型は、水土保持林65%、(国土保全タイプ6%、水源かん養タイプ59%)、森と人との共生林32%(自然維持タイプ8%、森林空間利用タイプ24%)、資源の循環利用林3%となっています。

保護林・緑の回廊

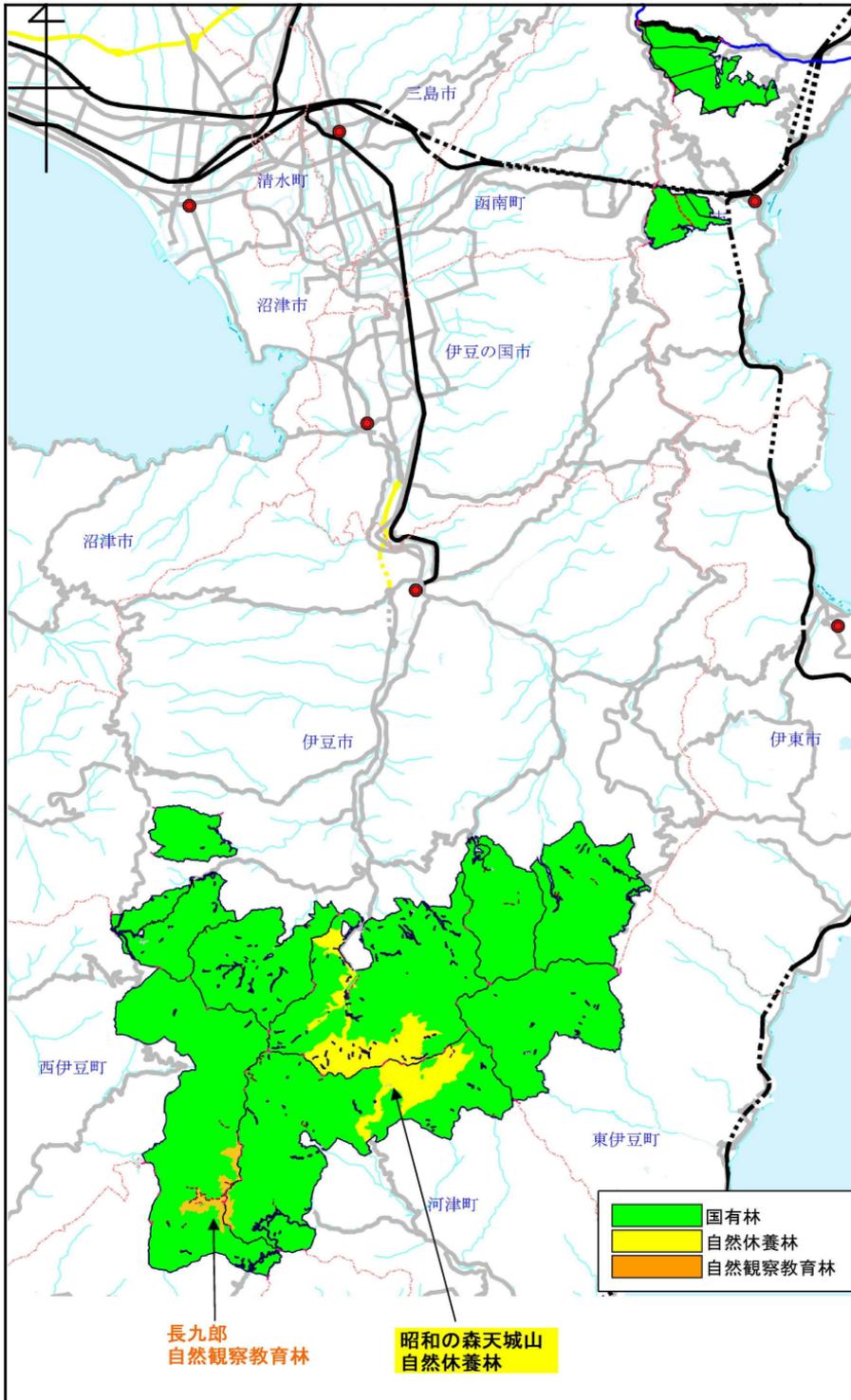


名称	特徴	面積(ha)
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を保存する	256
植物群落保護林	地域を代表するものとして保護を必要とする植物群落を保護する	141



植物群落保護林 (天城太郎杉)

レクリエーションの森概要



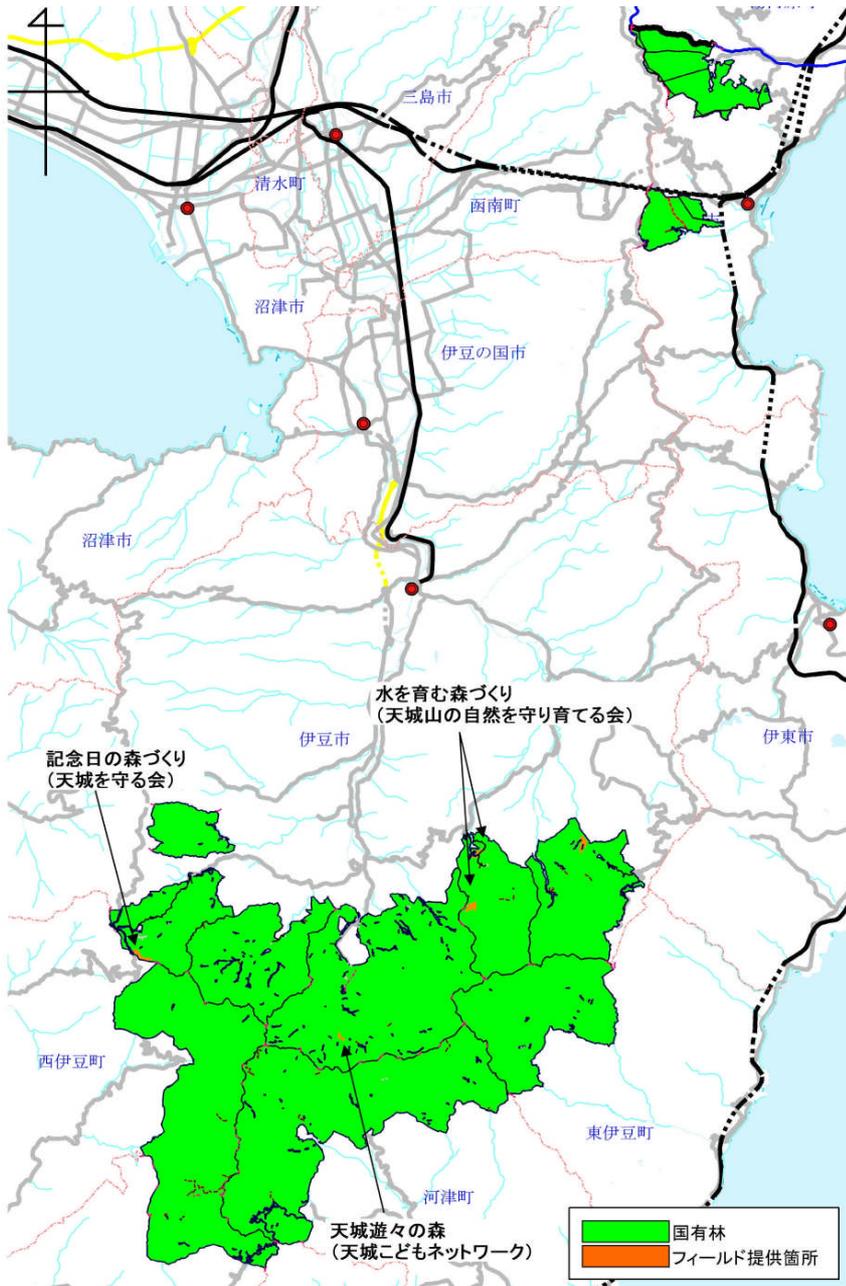
名称	特徴	面積(ha)
自然休養林	人と森林とのふれあいの場としてゾーン分けした地域	1,100
自然観察教育林	当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し自然科学教育等に適した地域	132



自然観察教育（長九郎）

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



記念日の森づくり活動	1 ha
天城遊々の森における 体験活動	4 ha
水を育む森づくり活動	6 ha



記念日の森づくり活動（植樹活動）



水を育む森づくり活動（保育間伐活動）